



平成28年度
子供と家族・若者応援団表彰
チャイルドユースサポート章
(子育て・家族支援部門)

平成28年12月26日



内閣府

【活動概要】

人材不足が深刻化している建設業において、社員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組み、育児・介護休業法にはない独自の休暇制度を導入。

配偶者の分娩の際に2日間の有給休暇が取得できる制度や、子が1歳になるまで5日間の有給休暇を取得できる制度など、父親の育児参加や仕事と家庭の両立を支援。

また、育児休業の取得や男性の育児参加を支援するため、上司が注意すべき事項について研修を実施し、社員が休暇等を取得しやすい職場環境づくりを進めている。

さらに、所定労働を削減するため、社内に業務改革推進プロジェクトを立ち上げ業務効率化を推進している。



業務改革推進プロジェクトの実施風景

【活動概要】

都市部への若者の流出等に伴い、過疎化・少子化が進行し、独身男女の出逢いの機会が少なく、結婚したくても出来ない若者が増えている。

このような中、独身の30～40歳代の息子や娘を持つ母親たちが「良い出逢いの場はないか」と集まったのがきっかけとなり、「過疎・少子化の波を食い止め、地域の賑わいを取り戻したい」との思いから、平成18年4月、町内の主婦ら22人が「縁むすびの会」を発足。男女の出逢いをサポートする様々なイベントを開催。

未婚者の背中を押す活動を積極的に推進している。



縁むすびの会「エンゼル相談室」の様子

【活動概要】

平成16年度に「保護者が楽しんで子育てをし、子ども達が健やかに成長すること」を願って同団体を発足。

足利市近郊の育児情報を収集し、年1回「子育てガイド」(乳幼児期編・学童期編・思春期編)を発行し、子育て中の保護者に無料配布するとともに、育児相談や親子の交流の場、地域子育て支援センター(しゃんしゃん広場)の運営、発達障害や育児等に関する講演会等の開催、食物アレルギーの啓発活動、教育委員会からの依頼による親学習プログラムのファシリテートの実施など、幅広い子育てサポート活動を展開している。



メンバー写真と「子育てガイド」

【活動概要】

スキャナー・画像処理ソフトの開発・製造・販売を行うメーカーであり、中小企業の中でも平成4年より先駆的に従業員の子育て支援に取組み、安心して働き続けることができる会社を目指している。育児休業からスムーズな復帰ができるよう「育児休業者職場復帰プログラム」を無理のないように実施し、仕事とのつながりを持続させている。

また、全社員を対象としたワークライフバランスの取組みの一環としてプロジェクトを立ち上げ、職場環境の改善や効率的な時間の使い方、コミュニケーションの取り方などを検討し、全社員に展開している。



WLBに関する環境改善の様子

【活動概要】

「多様な働き方モデル開発事業」プロジェクトチームを社内公募によって立ち上げ、社員自ら育児休業制度の拡充、休暇中のサポート及び復帰支援プログラムの整備、ショートタイム正職員という雇用形態を新設して、役職や待遇を維持したままフルタイム勤務・パートタイム勤務との間で雇用形態の移行を可能にするなど就業規則の見直しを継続的に行っている。

社員自らが主体的に時間をかけて社内合意を形成していく方法で、社員の生活環境、意識改革を継続的に実施している。



【活動概要】

約24年前、町内唯一の育児サークルとして音更町西保育園の一般開放日から発足し、親子の交流を目的に長年にわたり0歳から3歳までの未就園児とその保護者を対象として、室内遊び、公園遊び、季節行事など週1回活動している。

また、町の育児サークル連絡協議会としての活動も担っており、子育てガイドの作成や子育てに関する情報提供を行うなど幅広く活動を展開している。



【活動概要】

市主催の「子育てサポーター養成講座」を履修した普通のお母さんたちが始めた子育て支援団体であり、同市の子育て支援センターの管理業務、集団託児のほか、会員のそれぞれの得意分野を活かした講座を行ったり、「読み聞かせキャラバン隊」と称して、多くの親子に絵本の魅力と楽しさを届けている。

また、未就園児の親子を対象とした乳幼児学級や子育てサークル等での講師として、季節に合わせたふれあい遊び、わらべ歌、手遊び、食育等を行っている。



「読み聞かせキャラバン隊」の活動の様子

【活動概要】

自らの子育てにおいて、周りの誰にも相談できず、孤独感を味わった経験から、同じ悩みや不安を抱える人の力になりたいと思い、子育て世代のネットワーク形成のために自らが元英語講師であることを活かし、平成19年に英語育児サークル「Happy Bear」を設立。以来、複数のサークルを設立し、継続的に活動を行っている。

複数のサークルのひとつ、「玉川学区子育て応援団ネットワーク 玉っこひろば」では、未就学児のいる家庭を想定した防災訓練を行うなど、地域の子育て支援の中心人物として活動をしている。



「玉っこひろば」ママとベビーの防災講座の様子

【活動概要】

不登校、児童虐待等の増加により、家庭教育の充実の必要性が指摘されるなど、社会全体で子育てを支援する必要性が高まっている。

本団体は、地域に暮らす多様なメンバー（臨床発達心理士、元教員、元保育士、元看護師、人権擁護委員等）で構成され、情報や学習機会の提供、相談体制の充実をはじめとするきめ細やかな家庭教育支援を長年に亘り継続している。

訪問型の家庭教育支援を行うことで子育て中の保護者の不安解消や課題解決に大きく寄与している。



「そよ風」のメンバー

【活動概要】

村内唯一の読み聞かせサークルとして昭和63年に設立。絵本の紹介や読み聞かせを行いながら、手遊びやゲーム、エプロシアターなどの活動を継続的に実施している。

また、会員外の方や地域住民を含めたお祭りやクリスマス会などの行事を行うなど、活動範囲を広げることで、村への転入者や地域との交流の少ない親子の参加も増え、地域の親同士の交流が深まっている。

団体が活動の火を絶やさぬよう、行政機関と連携しながら、活動の場を工夫するなど、無理のない活動を心がけているおり、引き続き活動が継続されている。



「サークル祭り」の様子

11 特定非営利活動法人 Kid'sさぼーと かたの

【活動概要】

市内にて以前より活動していた保育サポーターグループが中心となり、平成18年に特定非営利活動法人格認証を取得し、子育て中の家庭、妊産婦の育児不安や育児負担を軽減し、安心とゆとりをもって子育てができるよう保育を必要とする全ての子供のサポートをしている。

また、「交野市ファミリー・サポート・センター」及び一時預かり事業「星の子ルーム」を市より受託。受託事業以外にも集団保育、産後のお世話、育児に疲れた母親のためのリフレッシュ事業等も実施しており、少子化や育児の孤立、児童虐待等の様々な問題を軽減することに繋がる取組みを行っている。



集団預かり保育の様子

12 ポラリス(交野市子ども家庭サポーターの会)

【活動概要】

平成13年～18年度に行われた「大阪府児童虐待防止アドバイザー」の養成研修を修了した有志によって結成され、同市の地域子育て支援拠点事業「ぼらりすひろば」の受託運営のみならず、親支援活動、親学び講座を開催している。子育て中の家庭、妊産婦に寄り添った支援を大切に、育児不安や育児負担の軽減、安心とゆとりを持って子育てできる取組みを行っている。

また、スタッフの資質向上を含め大阪府や市の研修、子育て支援者交流会などに積極的に参加し、常にスキルアップに努めている。



「親まなび講座」の様子

【活動概要】

平成22年6月に民政委員・児童委員、主任児童委員、母子保健推進委員、保護司、子ども会・保育所・学校・行政の各関係者、母親サークル活動者などが会員となり当会を設立。月1回の定例会を設け、研修会、講演会等のイベントを計画的に開催している。

また、乳幼児をもつ母親同士が子育てに関する意見交換、交流を行う母親サークルを育成するための相談活動も毎月実施しており、平成27年11月には、お父さんの育児参加を促進することを目的にイクメンセミナーを山口県から受託し実施している。



「子育てパパの読み聞かせ会」の実演の様子

【活動概要】

当校の子供たちや総合支援学校への理解及び支援を得ることで、障害のある子供たちが地域で暮らしやすくなるよう、年1回、障害のある子供に関する様々なテーマについて学ぶ講演会や交流会を実施する「PTA地域交流会」の開催をはじめ、子供たちが様々な体験を通じて、地域で充実した余暇を過ごせるよう、年間を通して「アウトドア、リラックス、和太鼓、写真、ランニング」などの活動を実施する「余暇体験サークル」に取り組んでいる。



余暇体験サークル
「和太鼓」演奏の様子

【活動概要】

昭和35年4月に鶴見区更生保護婦人会(平成15年に現在の名称に改称)を結成し、鶴見区内での犯罪予防活動を実施する他、更生保護施設等への物資の支援を継続的に実施。

平成13年からは「つるみ子育て・個育ちフォーラム」を年1回開催するなどして、地域での青少年育成及び子育て支援に尽力している。

更生保護女性会員だけではなく、行政や多数の地域の関係団体との連携をし、世代を超えて地域全体で子育て等について意見交換をする場となっている。



「つるみ子育て・個育ちフォーラム」における折り紙教室の様子